

**大学入学共通テストを終えて**

1月16日(土)、17日(日)に、本校56期生が大学入学共通テストを鹿児島大学農学部で受験しました。前日は余裕を持って下校し、最後の準備を行いました。本番では初の共通テストにも果敢に挑み、最後の科目まで力を尽くしました。

1月18日(月)は、各教室で自己採点をしました。この採点結果をもとに出願先を決定します。57・58期生は、自己採点まで含めた3日間が共通テストであることを意識してください。そして、自己採点が正確でないと、正しい出願ができないので、これからの模擬試験後の自己採点への意識を高めていってください。

1月22日(金)には、第3回進路判定会が行われました。自己採点と各予備校の判定、さらに生徒の今後の伸びに対する教科担任の見解をもとに、出願先と合格可能性について56期生全員について話し合いました。

1月23日(土)、24日(日)は、出願先決定のための三者面談が行われました。進路検討会での議論をもとに、生徒・保護者・担任が知恵を出し合い、覚悟と決意を持って出願先を確定させました。

56期生にとっては、人生の中で最も大きな選択だったと思います。ここで自分が下した最終決断を信じ、二次試験に向けて全力で走り抜けてほしいと思います。

二次対策開始

1月19日(火)から、二次対策の特別授業が始まりました。二次試験で必要な教科の授業のみを受けますが、負担が減るわけではありません。共通テスト以上に深い理解と思考力、表現力が求められる問題に向き合わなければならないからです。ハイレベルな演習に、思うようにできないストレスを感じている人もいます。ただ、二次対策に必死に取り組む中で、必ずそれまで積み上げてきた経験が頭の中で結びつく瞬間がきます。初めて見る問題に対しても解答への正しい方向性を見つけられるようになるのです。その手応えをつかむ瞬間が必ずくることを信じて、目の前の1つ1つの問題に真摯に向き合いきましょう。実際、これまでも多くの先輩たちが、この二次対策の中で学力が伸びたと実感しています。そして、分かるから勉強が楽しいという声が上がります。共通テストはあくまでも通過点に過ぎません。本当に勉強が面白くなるのはここからです。

あと50週、あと100週

共通テストを終えた高校3年生が必ず口にする言葉があります。「本当に早かった」です。特に、教室に共通テストまでの日数を記したカウントダウンカレンダーが掲示される100日前からは「あつという間だ」と言います。57期生はあと約50週で、58期生はあと約100週でその時がやってきます。万全の準備を心掛けましょう。

また、57・58期生は先日受験した記述模試の復習の中で、自分が次の記述模試までの時間で伸ばすべき分野を確認しましょう。「数学を頑張る」ではなく、「ベクトルを克服しよう」などと、具体性を持たせましょう。模擬試験は、進路実現のための大切なツールですが、その活用度には個人差が大きいのが現状です。進路指導室便り6月号で紹介した復習の仕方を実践し、着実に苦手を克服しつつ、得意分野を伸ばしていきましょう。

数値を意識する

3年生はこれから個別試験に臨みます。昨年度は「進路指導室便り」で「合格ライン」について紹介しました。一部要約して再掲します。

総合点の「合格ライン」のクリアを目標にしよう

国公立大ならばセンター試験と2次の個別試験の合計得点ということになる。もちろん、年ごとの入試問題の難易や倍率の変動、科目数や配点の変更などによって、ラインは変動する。それでも、具体的な合格者像をイメージできる、最も現実的な目安であることは確かだ。年ごとの合格ラインと自分の実力との距離を常に意識し、その距離を克服していこう。

<http://eic.obunsha.co.jp/analysis/202001/>

これまでは記述模試の偏差値を学力の指標としていた生徒も多いでしょう。ただし、今後はより具体的な数値が重要です。下表は昨年度の入試結果です。左から順に、センター傾斜配点・個別試験配点・合格者平均点です。

鹿児島大・法文・多元	600	400	650
鹿児島大・工・機械工	700	550	667
熊本大・文・コミュ	335/450	296/500	632/950

一番上の例では、仮に共通テストで70%得点できていれば、個別試験で230点を目標に設定できます。熊本大学のように、傾斜配点や個別試験の合格者平均点が判明する大学もあります。確実な加点を目指した解答作りを意識し、ここからの4週間で充実させてください。

1年後に後悔しないために

2年6組担任 生駒真也

1月16日(土)・17日(日)に、今までの大学入試センター試験に代わる初めての大学入学共通テストが行われました。本校の3年生の先輩方も自分の進路実現を図るために、コロナ禍で今までの生活と異なる環境の中である上に、初めて行われるテストということでどのような問題になるか不安でいっぱいの中、自分の持っている力を出し切ろうと頑張って受験に臨みました。その自己採点の結果を踏まえて、2年生の皆さんが進研記述模試を受験していた1月23日(土)・24日(日)に、多くの3年生の先輩方は三者面談に臨み、国公立大学の出願先の最終確認をしていました。大学入学共通テストの自己採点結果で、目標としていた得点が取れて希望する大学へ出願することができた人、残念ながら得点が伸びずに出願する大学を目標としていた大学から変えざるを得ない人…。2年生の皆さんも、大学入学共通テストを受験するまであと1年を切りました(皆さんが受験するのは、令和4年1月15日(土)・16日(日)です)。ということは、残りの高校生活も約1年です。これまでの高校生活が、将来の自分の人生を豊かなものにするためのステップとなっていたかを今一度振り返ってみましょう。

皆さんは、自分の意志で、この鹿児島中央高校に入学したと思います。本校は、普通科の高校です。普通科とは「普通教育を主とする学科」とあります。これを分かりやすく言うと、進学をめざす人向けのカリキュラムで、教科としては国語・地理歴史・公民・数学・理科・英語・保健体育・家庭・芸術・情報及び総合的な探究の時間を主に履修する学科ということになります。このことを踏まえると、**皆さんが高校卒業後の進路実現を図るためには、「学力」が最も重要であると言えます。**皆さんが本校に入学した時には、高校3年間で幅広い「学力」をつけて、高校卒業後には希望する大学へ進学しようと考えていたことと思います。今でも、その思いを持ち続けていると思います。本校の受験の際に県内屈指の高倍率を乗り越えて入試を突破し、本校に入学してくれた皆さんですが、来年立ち向かう大学入試は日本全国の人たちがライバルです。高校入試とは比べ物にならない数多くの人がライバルになるのです。全国各地の大学入学を目指す高校2年生が、学力向上を意識して日々努力を積み重ねています。様々なテスト返却の際に、「平均点を超えて安心した」という声をよく聞きますが、それで満足しているようでは、大学入試は突破できません。もっと広い視野で、自分自身の立ち位置を見てみましょう。まずは、**勉強に集中できる環境を整える**ことが大切です。1年後に後悔しないために、高校2年生の今の時期に、今一度皆さんに考えてほしいことを3つ挙げます。

① 勉強する場所にスマートフォンを持ち込まない。

スマートフォンが視界にあると、集中が切れてしまった時に触ってしまいませんか。自分が自由に触れない場所にスマートフォンを置くことで、勉強せざるを得ない環境を作ることも大事です。

② 1日当たりのスマートフォンを使用する時間を決める。

1日当たりのスマートフォンの使用時間が無制限になっている人はいませんか。使用方法によっては、スマートフォンは便利な道具になりますが、自分の学力を向上させる勉強を行う上では、長時間使用する必要はないでしょう。毎日の生活時間を踏まえて、スマートフォンを使うことができる時間を逆算してみましょう。アプリの数を減らすことも、スマートフォンの使用時間を減らすことに繋がるかもしれません。

③ 見たいテレビ番組を精選する。

今の時代、地上波以外にもCS・BS・インターネットTVなど面白いテレビ番組がたくさんあり、気になる人も多いと思いますが、見たいテレビ番組を絞り込み、学習時間を確保することが大切です。

自分の生活の中でこの3つについて見直し、学習に集中して取り組んでくれることを期待しています。

初めての「大学入学共通テスト」が終わりました。例年ならば、先生方が会場入り口付近に待機して、激励したり「ともチョコ」等の差し入れを配ったりして、少しでも緊張感をほぐしながらの受験風景がありました。ところが今年は、新型コロナウイルスの影響を受けて引率者の大学への入構が11時までには制限されたために、各自で気持ちのコントロールが必要となりました。本校生は全員が鹿児島大学農学部での受験で、事前に注意を受けていたこともあって、休み時間には外に出て気持ちを切り替えて次の試験に臨んでいたようでした。これからの私立大学や国公立大学2次試験では、ほとんどの場合周囲は知らない人ばかりの中で受験になります。ベストなコンディションを保って、いかに平常心で受験するかがポイントになります。生活のリズムを毎日一定にすること、特に「起きる・食事する・学習する・寝る」時間は固定しておきましょう。受験当日自宅以外から出発する場合は、特に気をつけてください。

さて、「大学入学共通テスト」やその他の試験でうまくいかなかった人も多いと思います。現在の時点でうまくいったと思える人はほとんど限られているのが現状だと思います。その中で、いかに合格を勝ち取るかを考えましょう。先生方で自己採点の結果を受けて、1月22日（金）に進路判定会を実施しました。一人一人の自己採点結果と今までの成績と家庭の状況などの制限に加えて、皆さんのこれからの成績の伸びの可能性を考慮しながら、受験校の判定とアドバイスを担任の先生に託しました。その結果を面談等で皆さんに伝えて、出願する大学を決める大きな判断材料の一つにしてもらいました。受験すると決めただけには、絶対に合格を勝ち取ってください。そのために、学校で実施している2次対策をしっかりと活用して、一世一代の勝負をしましょう。2次試験は、満点を取る必要は全然ありません。合格最低ラインに合計点数が達すれば合格です。1点でもいや0.01点でも不足すれば不合格です。実際、私は東京大学に0.01点と0.13点足りずに不合格になった生徒を経験しています。不合格のとき、きっと「あのときこうすればよかった」と後悔するでしょう。後悔しないためには、これから受験まで1秒たりとも無駄にせず、努力を積み重ねましょう。

今まで進路だよりに「気張いやんせ56期生」と題していろいろなことを書かせていただきましたが、これが最後になります。この題名は、私が56期生と最初に会ったときに恥ずかしながら歌わせていただいた長渕剛さんの曲名です。鹿児島弁で頑張れという意味だということは分かっていると思います。本当は、共通テスト直前に歌いたかったのですが、もう一度歌詞をここに書いておきます。

長渕剛「気張いやんせ」

どげんしてん やらんと いかん事がよ 俺にも わいにも ひとつくらいある
やっせんぼ やっどんからん よかぶいごろの あげんな 汚っさね 真似やできん
前つんのめりで 生きて 行こや 誰が 悪いち 言うもんか
気張れ 気張れ 気張いやんせ一度どま け死ん限い 気張いやんせ

訳 どうしてもやらないといけないことが、僕にもお前にもひとつくらいある
僕は弱虫だけど、格好つけのあいつみたいな汚い真似はできない
前向きで生きていこうや 誰々が悪いというもんか(すべては自分の責任だ)

頑張れ!頑張れ!!頑張ってください 人生に一度くらいは死ぬほど頑張ってみなさい

私事で恐縮ですが、今年3月に定年を迎えるこの年に、担当させていただいた56期生。全員が、鹿児島中央高校で学んでよかったと感じながら卒業できるように、いや大人になっていつかはそう感じられるように、残りの日々を全力で頑張りたいと考えています。みなさんにとって、高校生活でここまで頑張ることができたという経験が、きっと自分の一生の中で支えになると思います。**け死ん限い 気張いやんせ。**